

HOTERES

週刊 ホテルレストラン

2019 12|20



特集 ウェディング総決算2019

TOP INTERVIEW

ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町

総支配人

芝田 尚子 氏

左より(一社)日本野菜ソムリエ協会 理事 王 理恵氏
OTU JAPAN(株) 代表取締役 張 俊霞 (Sancia Cho) 氏

配管の経年劣化による赤水や赤錆問題を短期間で解決 ～全館休業や客室を 売り止めすることなく設置工事可能～

開業 20 年、30 年を迎えるホテルが増える中、経年劣化にともなう給水や空調冷温水管や冷却配管、給湯管内の赤水や赤錆問題が浮上している。そんな中、断水工事不要、空調管取り替え工事の 10 分の 1～20 分の 1 のコストで問題解決する画期的な更正装置「NMR パイプテクター®」を独自開発したのが日本システム企画(株) 熊野活行社長だ。ロンドン市庁舎ギルドホール技術サービス部長より推薦状を受託するなど世界から注目されている。

配管取替え工事の 10～20分の1のコストで設置

日本システム企画は従来の飲み水などの生活用水として使われる配水管や空調の温度調節、冷却などに使われる空調管や冷却配管、病院やホテルなどで使用頻度の高い給湯管などの腐食防食をうながす赤錆防止・配管更正装置「NMR パイプテクター®」を開発、イギリス・ロイヤルガーデンホテルやベトナム・レジェンドホテルサイゴンなど 5 ツ星ホテルなどで設置実績を上げている。推薦状を書いたロンドン市庁舎（築 39 年）では赤錆が 99%還元されたことや 4 週間で配管更正効果を得たことなど実績を賞賛している。

ポイントは配管取替え工事が不要なため取り付け作業中も通常運営できること、通常の取替え工事の 10 分の 1～20 分の 1 のコストで済むことにある。特に空調冷温水管は施設全体にかかわる設備となるため、通常は工事期間中、ホテル運営ができない。工期も日数を要するため売り止めという機会損失を招くことになる。

東京五輪や大阪万博などますます国内外の宿泊者が増える中で売り止めにすることなく運営していかなくてはならない。加えて赤水や赤錆などから宿泊者の安心・安全が担保できないホテルの評価は下がることになる。そのような事態になる前にいち早く、簡単に取り付けられる「NMR パイプテクター®」を活用しない手はないと言える。

設置後 2 週間の採水調査で 水の色が透明に

加えて今後全国で 500 軒を超えるホテルが計画されている中、高額なステンレス管を使用せずとも配管内を常にキレイな状態に保つことができるため、ステンレスと比較して廉価な鉄管使用により工費を削減することも可能だ。数 100 億円という新築に必要な工費額からすれば 0 コンマというわずかな費用に過ぎず、メンテナンスを施すことなく 30 年、40 年とキレイなままで配管を守ることができる。また配管径によらず、すべての管に設置することが可能なため、国内外問わずどこでも取り付けることができる。実際、英国バッキンガム宮殿やハロッズデパート、BBC やマリオットホテル、ヒルトンホテルやマンション、病院、工場、学校など国内外で 4,100 棟以上の実績を上げている。

設置前と設置後に同じ条件で調査を行ない、赤水・赤錆効果を短期間で数値データにより実証するほか、従来の装置とはちがひ、行政の管轄する工業試験場や旧厚生労働省管轄の日本赤十字社の病院で赤錆防止の効果検証を行なっている。第 13 回アジア・太平洋防食国際会議や社団法人日本防錆技術協会にて防食技術の論文が受理・発表されている。

実際、都内のホテルでも設置 2 週間後の採水調査で水の色はほぼ透明化し、設置前に確認できた水中の全鉄値 1 ℓ 当たり 5.8 mg の赤錆の沈殿

物はほとんど取り除かれ、1 ℓ 当たり 0.6 mg と大幅に減少したという検証結果が残されている。

「今後は国内のホテルや旅館など、宿泊施設を持つ施設への設置を一層、強化していきたい。宿泊者や利用者のために安心・安全であり、オーナーの大切な資産をいつまでも守り続けていきたい」（熊野活行社長）。



日本システム企画(株)
代表取締役社長
(モンゴル国際経済大学 名誉教授)

熊野 活行氏

東京都渋谷区笹塚 2-21-12
営業所: 札幌・函館・仙台・高崎・名古屋・
大阪・広島・高松・福岡・那覇・イギリス・
アメリカ
TEL:03-3377-2339
URL:www.jspkk.jp